



あゆみ

〈教育目標〉
やさしく
かしく
たくましく

雨の日、晴れの日

梅雨の季節を迎えアジサイのつぼみが膨らみ、色づき始めました。自然の植物がたくましく伸びゆく様子は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。草や木の成長にとって無くてはならないのが、雨の日であり、また良く晴れた日です。どちらもちょうど良いバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降っていれば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れた日ばかりでも、水分が無くなって枯れてしまいます。



このように、植物の成長には反対のもの同士が必要です。子どもの心の成長にも、雨と晴れのようにまったく反対のものが必要です。それが『やさしさ』と『きびしさ』です。新学期が始まり2ヶ月が経ち、緊張感がなくなってきたのか、最近子どもたちの中にわがままやルールを守れない、自分勝手な行動が少し見られるようになってきました。子どもたちは、『やさしさ』だけでは甘えが出たり、わがままになったりして、よい心は育ちません。また、逆に『きびしさ』だけでも気持ちがすさんだり、いじけたり、いらいらしたりして、よい心は育ちません。子どもたちは、一日のなかで何回か注意されたり、ほめられたりする機会があると思います。悪いことは、そのときにきびしく注意し、また、良いところは積極的に認め、やさしくほめてあげることがとても大切です。『やさしさ』と『きびしさ』をバランス良く使い分け、的確な判断のできる子どもを育てていきたいと思っています。

わんぱく集会

6月10日(水)、とちぎわんぱく公園で『わんぱく児童集会』を実施しました。晴天のなか、『なかよし班(縦割り班)』に分かれ、オリエンテーリングやわんぱく活動を行い、楽しい時間を過ごしました。

本校では、『仲良し班(縦割り班)』での活動を通して、異学年での交流を深め、お互いを思いやりながら、協力し合う態度の育成を目指しています。1年生から6年生までの児童を小グループに分け、それぞれの『仲良し班』が、わんぱく集会、日々の清掃、共遊(昼休みや業間の時間の遊び)、仲良し給食、6年生を送る会等の活動を行います。上級生には、リーダー役の苦手な子もいますが、必ずリーダーになる仕組みです。下級生の面倒をみることで困ることもあります。そのような経験をするなかで、いろいろな人とのかかわりを学んでいきます。一方、下級生は「私も大きくなったら、仲良し班のリーダーになって・・・」と上級生の背中を見て、その動きを学んでいきます。昔の子どもたちは、学校が終わると、ランドセルを投げるように家に置いて、地域の年長の子どもを中心に、日が暮れるまで遊んでいました。そこで遊びを覚え、仲間のルールを学んでいきました。異学年の子どもが一緒になって遊ぶ、そんな社会性を身につける時間や場所が今はなくなりつつあります。本来、子ども同士が地域の中で身につける社会性ですが、現在はそれを育てることが難しくなっています。それに代わるものが、学校における『仲良し班活動』であると考えています。このような活動を通して、本校の目標である『みんなと仲良くする子』を育てていきたいと思っています。



『家読』のすすめ

壬生町の小中学校では、教育目標達成に向けて次の3点で保護者との連携を実施しています。

- あいさつ、靴揃えに早寝・早起き・朝ご飯
 - テレビを消して会話や読書
 - ゲームをやめて外遊び
- 親子で食事、親子で会話、親子で読書



このなかで、読書について5月の図書の貸し出し数の平均を集計したところ、次のような結果になりました。(1年生は、5月は貸し出しをしていません)

2年生 (3.3冊)	3年生 (3.5冊)	4年生 (6.5冊)
5年生 (6.2冊)	6年生 (3.5冊)	

学校の図書館の他に『BMゆうがお』や『町の図書館』で本を借りている児童もいると思いますが、全体的に読書量が少ないように思います。全国的には小学生の平均読書冊数は1ヶ月平均、10.9冊であるという統計があります。

- 読書をすると、次のような良い点があるそうです。
- 子どもの頃に読書活動が多かった大人ほど、『未来志向』『社会性』『意欲・関心』『文化的作法・教養』『市民性』のすべてにおいて、現在の意欲や能力が高い。
 - 集中力の持続時間が長くなる。
 - 学力的側面において、自由読書(読みたいから本を読む、読みたい本を読むという読書)が読み書き能力と関係がある。心理的側面においては、読書量が多いほど共感性が高まる。
 - 基礎教育や学力向上等の教育的効果がある。
 - 語彙が豊富になり、文章が上手く書けるようになる。
 - 人の気持ちを理解できる。
 - ストレス解消に非常に効果的
 - 大脳が活性化する。アルツハイマーの予防に効果的である。
- 読書は『心の栄養』です。家庭でも少し時間を作っていただき、望ましい読書習慣でお子様に、集中力や読解力、そして豊かな創造力を育てて欲しいと思います。

胃腸のかぜ・食中毒に気をつけて

6月に入って、本校で下痢や嘔吐の症状で体調を崩している子が出ています。これから、気温・湿度共に高くなる時期なので食中毒なども心配されます。ご家庭でもお子さんの健康観察を朝夕行っていただき、いつもと様子が違う場合には無理して登校せず、様子をみていただくようお願いいたします。また、手洗いうがいをきちんとし、普段から予防に努めましょう。

■症状

胃腸炎の主な症状は、発熱、嘔吐、下痢、腹痛です。原因菌の種類、子どもの年齢や抵抗力などにより、発熱があつたりなかったり、嘔吐や腹痛が軽かったり激しかったり、下痢も軽かったり、ときには血便になったりと症状は多彩です。

■学校・家庭での対応

《受診の目安》

- ・腹痛がある
- ・嘔吐がおさまらない
- ・下痢をしている
- ・血便が出た
- ・水分がとれない
- ・ぐったりしている

嘔吐、下痢などの症状がみられたら

保護者に連絡をして、早めの受診を勧めます。

胃腸炎症状で医療機関にかかったときには、診断名(原因菌などがわかればそれも)がわかれば学校に連絡してください。詳しい症状も教えてください。

汚物について

感染した子どもの嘔吐物、下痢便などからの感染拡大を防ぐためにも、塩素系消毒薬を使って速やかに片付けてください。

2リットルのペットボトルにキャップ2杯分のハイターやピューラックスなどの塩素系漂白剤を入れて消毒液をつくります。汚れたテーブルや床は、この消毒液をキッチンペーパーに染み込ませて拭いてください。汚れた衣服は、この消毒液に15分つけてから洗濯します。

プール学習

プールでも感染することがあります。プールカード記入の際注意して健康観察をお願いします。